

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター一宮市立いずみ学園		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・同事業所内に「計画相談」「療育相談」「体験療育」などの部門があるので、支援を実施する際の連携がとりやすい。	・切れ目のない円滑な支援が提供できるよう、各相談員を起点として保育所等訪問支援を開始するとともに、終了時には必ず各相談員の面談に繋げて事後フォローができるようにしている。 ・こどもの姿、取り組んでいる支援の状況などを、支援員と各相談員とでこまめに情報共有し、支援の方向性について意見交換し、複数の目で客観的にこどもの姿を捉えながら進めていくようにしている。	・今後も引き続き、各部門の連携を意識し、それぞれの役割をもって協力しながら利用者や保護者の悩みや困り感に迅速に対応できる体制作りをしていく。
2	・同事業所内に公認心理師や作業療法士などの専門職が在籍しており、専門的な見立ての助言を受けやすい。	・見立てや支援に迷った時には、その時にすぐに専門職の助言を受け、支援に役立てられる環境が整っている。 ・必要に応じて、訪問時に専門職が同行し、的確にこどもの姿を捉えて支援を進められるようにしている。また、報告書を通して施設先や保護者に専門的な見立てを共有し、必要に応じて、有効な教材教具などを紹介したり、貸し出したりしている。	・今後も引き続き、専門職の協力を得ながら、利用者やその保護者、訪問先にとって最善の利益となる支援を提供できるように努めていく。
3	・常勤の職員が専属で保育所等訪問支援員として2名所属し、稼働している。	・支援員間で情報の共有や相談などの時間を合わせ、複数の目で支援の方向性を確認するとともに、必要に応じて訪問時に同行できる体制を取っている。 ・継続して従事し経験を積んだ支援員が訪問できる体制が整っている。	・支援員の体制なども含め、保育所等訪問支援に必要なタイミングで利用してもらうために、さらに充実を図るよう事業所全体で検討していく。 ・複数の職員で支援を検討できる体制を生かし、協力、相談しながら利用者に必要な支援が提供できるように努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・公立のため、年度ごとに職員の異動があり、担当支援員が異動になった場合、円滑な支援の提供に支障をきたすことがある。	・基本的な保護者とのやり取りや訪問先との連携など、窓口は担当支援員が担っているため、担当支援員が異動になった場合、ステージが変わる重要なポイントで支援の繋ぎや保護者や訪問先との関係づくりから始めなければならない。支援の経過は共有しているが、同じように支援をすることは難しく、保護者に不安を与えることにつながる。	・支援員は経験を積む中で、支援力を向上させ、保護者や支援先のニーズに合わせた適切な支援を提供し、相談等に応じられるスキルを身につけていく。訪問先と時間をかけて関係性を築いていく必要がある。ステージが変わる重要な時に、信頼している職員が異動すると、保護者や訪問先に不安を与えるため、事業所内で細部にわたって情報を共有するとともに、職員の育成に努めていく。
2			
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター—宮市立いずみ学園					公表日	2026年3月24日		
						利用児童数	17 (2026年3月1日時点)	回収数	17
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	11	1	0	5	・カード、足台などを用意していただき、本人にとって何が分かりやすいかなど知られてよかった。	・今後も支援を継続する。		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	17	0	0	0	・電話で相談の上、決定されている。	・保護者の意向やこどもの姿に柔軟に対応できるよう、丁寧な対応をしていく。		
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	15	0	0	2		・今後も課題に応じて多職種で対応していく。		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0	・専門的な目線から、本人が過ごしやすい環境や自立に向けた支援の仕方を教えてもらった。 ・家では分からない集団での様子を細かく知ることができた。	・今後も支援を継続する。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		・今後もこどもの姿や願いを中心に保護者のニーズを探り支援計画の作成を継続する。		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	16	1	0	0		・今後も保護者に丁寧に訪問先の意向を伝えていく。		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	2		・契約時にガイドラインについて周知し、内容を踏まえながら支援計画を立案していることを伝えるようにする。		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		・今後もこどもの姿やニーズに合わせて作成した計画をもとに支援を継続する。		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0		・今後も保護者に丁寧に訪問先の状況を含めて伝えていく。		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		・今後も保護者に分かりやすい言葉を用いて説明していく。		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		・今後も保護者に分かるよう具体的に知らせよう努めていく。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10	2	1	4		・現状通り研修等について積極的に周知するようにする。		
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0		・今後も保護者の意向を大事にしながら、支援の必要性を丁寧に説明していく。		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	1	1	・困りごとがあり支援を依頼したが、開始予定日が4か月ほど遅れ不安だった。	・できる限り必要なタイミングで支援が開始できるよう迅速に対応していく。		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	17	0	0	0		・今後も訪問先と話し合ったことを保護者にも伝え共有していく。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	9		・保育所等訪問支援を取り上げて情報発信していないが、必要に応じて検討していく。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	17	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	28	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	・満足している。	・今後も保護者、訪問先のニーズに応えられるような支援を継続する。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
児童発達支援センター―宮市立いずみ学園		2026年3月24日				
		利用児童数			19 (2026年1月31日時点)	回収数 19
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当だけでなく担任にも理由を伝えてもらったので、納得して支援できた。 ・子どもの行動の理由や関わり方を、具体的な場面を交えて説明していただき理解しやすかった。 ・集団生活で取り入れやすい助言だった。 ・質問に対する返答が具体的であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も訪問先の状況や意向を踏まえ、お子さんや支援者に合わせた取り入れやすく、かつ、分かりやすい具体的な支援を提供していく。 	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	18	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に合わせた的確な助言をしてもらい、とても満足している。 ・予想以上に子どもの成長につながった。 ・細かいところまで見てもらえ気づきになった。 ・技術を感じられる場面がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もより知識や技術を深め、集団生活の中で支援者が活かせるような支援を提供していく。 	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に合わせた分かりやすい回答をいただけるので安心して相談できた。 ・資料をいただけてよかった。 ・いつも丁寧に教えてもらっている。 ・どんな質問をしても即答で教えてもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も訪問先のニーズに応じ、支援を迅速、適切に回答ができるよう対応していく。 	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	18	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携して支援できるようお力添えをいただいた。 ・助言を実践することで変化が見られ、課題や困りごとが軽減した。 ・すぐに解消できるわけではないが、継続して来てもらうことで、その時に相談してみようと思えた。 ・特に解消されたことはなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援の期間内に解決できない支援目標以外の課題に関しては、今後も療育相談担当などと連携して進めていく。 	
5 事業所からの支援に満足していますか。	18	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育がとても助けられた。 ・関わり方や進め方が明確になった。 ・保護者の意識についての支援を期待したが、大きな変化はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も丁寧な説明を心掛けながら、お子さんと支援先の環境に合わせた支援を継続する。 	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、職員は来ていただけることを楽しみにしていた。 ・発達に合わせた支援内容が明確に分かり、支援への目標を持って取り組むことができた。 ・保育とは違った視点で、困ったときにすぐ相談できることは、とても心強くありがたく思っていた。 ・家庭と足並みを揃えていくことが大切だと改めて感じた。保護者の考えや思いを教えてください、安心して日々の指導ができた。 ・子どものために色々な機関と連携して継続して見ていくことは、園にとっても必要だと感じた。 				<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見をもとに、今後も引き続き保護者の意向や子どもの願いを踏まえ、支援施設と協力しながら支援に当たれるよう、保育所等訪問支援の専門性を高め、資質向上に努めたい。 		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター―宮市立いずみ学園		公表日		2026年3月24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	0	・個別に応じた環境調整、こどもだけでなく支援者や施設に合わせた教材教具を提示している。 ・できるだけ具体的に支援の方法をイメージしてもらうため、訪問先に持参する教材や参考書籍を準備している。	・足りないと思われる教材について、適宜、準備を進めていく。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・2人体制だが、今年度は、申し込みから支援を開始するまで、半年待ってもらうことがあった。 ・利用者の希望するタイミングで支援を開始することができないが、待機期間中は、同施設内の相談業務でフォローできるようにしている。	・引き続き、開始までの待機期間は、同施設内の療育相談や巡回訪問支援でフォローしていく。 ・職員の配置数については、随時検討し整備を進めていく。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・契約件数、実施期間、支援内容など、具体的な目標を設定し実行している。毎回、実施した支援を振り返り状況を確認し、必要に応じて改善している。 ・業務における課題を共通理解するとともに、気になることがある時は、その都度支援員間で話し合い改善に努めている。	・今後も継続する。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・支援に対する評価を受け、改善に取り組んでいる。 ・支援終了時に保護者面談を行い、評価と併せて、直接意見を聞く場を設けている。その意見を支援員間で報告し合い、改善に努めている。 ・保育所等訪問支援を実施する事業所で、課題について共通理解できる場を設けている。	・今後も継続する。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・常に意見交換し合える関係性の下、担当支援員の意見を尊重しながら、他の支援員や児童発達支援管理責任者とともに話し合い、必要に応じて改善に努めている。 ・機会を設けることはしていないが、常時、意見をあげやすい雰囲気があり、こまめに改善点の検討はできている。 ・他職種の見解も参考にしながら取り組んでいる。	・今後も継続する。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・外部評価による第三者評価は受けていないが、今後、導入を検討していく。	・今後、導入を検討していく。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・施設内研修は定期的に行っており、外部研修にも積極的に参加できる体制を整え、受講者が伝講する機会も設けている。 ・外部研修、課内研修などに受講できる機会が多い。	・今後も支援力向上のために継続する。	
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	・支援開始前に複数人で施設を訪問し、集団でのこどもの姿や環境、支援の状況を客観的に観察した上で、相談担当者、訪問先、支援員で必要性を精査して支援を開始している。 ・保護者と施設へのアセスメントを行い、双方のニーズや児の思いを汲みながら計画を作成している。	・今後も継続する。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者と担当支援員だけでなく、他支援員とともに、こどもの姿や保護者と支援施設先のニーズを十分把握した上で検討しながら、支援計画を作成している。また、それを担当相談員にも共有し、必要な場合は意見を求めるようにしている。 ・事業所内だけでなく、必要に応じて児童発達支援、医療機関等と連携したり見学したりしながら支援に取り組んでいる。	・今後も継続する。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	・訪問先施設との担当、担任、その他の職員の意向を丁寧に聞き取り計画案を作成し、訪問先に確認してもらい再検討しながら支援計画を作成している。	・今後も継続する。	

適切な支援の提供	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当、担任以外の、こどもに関わる職員間にも支援計画を周知し共通理解してもらい、必要に応じて支援計画の内容を再確認してもらえるようにしている。 ・児童発達支援管理責任者や支援員全員で、定期的に書面を通して支援状況の共有を計っている。作業療法士も関わる際には、事前に目を通すことを依頼している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、支援に関係する職員が、各自必要に応じて支援計画や実施状況を確認できるようにしておく。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・共通化したアセスメント様式を利用し、こどもの姿や発達を確認している。また、必要に応じて複数の支援員で観察したり専門家が同行して客観的な視点を聞いたりしている。 ・標準化されたアセスメントツールは使用していないため、必要に応じて使用できると良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続する。 ・使用しているツールを含めて、実施状況を支援員間で再確認する。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを確認し、支援内容を具体的に設定している。 ・ガイドラインの内容を必要に応じて確認しながら、できるだけ分かりやすく、具体的な支援が提案できるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も必要に応じてガイドラインを確認し、適した支援を継続する。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先や訪問時間は、必ず確認し、把握している。具体的な支援内容に関しては、必要に応じて事前に相談したりモニタリングに同行したりして、チームで支援することに努めている。 ・その日の取り組み前に限らないが、事前確認をしながら支援内容を明確にして訪問している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続する。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問後は必ず、職員間で報告し合い、支援を振り返りながら、支援内容や今後の支援について確認し、整理している。 ・数日以内に、支援の状況やこどもの姿を支援員間で共有し、意見交換している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続する。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の方針や理念、カリキュラムには十分配慮し、訪問先に無理のない支援の提供に努めている。 ・訪問先の理念は最大限尊重し、その中で実践できる支援を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続する。
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録は必ず取り、職員全員で記録を確認し合い、支援内容の確認、改善に繋げている。 ・モニタリングには必ずメモを取り、それを基に、毎回記録を作成している。その中で、支援を振り返り、今後の方針まで記入するように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続する。 ・記録の作成について、より分かりやすく端的にまとめられるように努めている。
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・開始前に、概ね6回のモニタリングが終了した時点で、計画の振り返りと見直しを行うことを訪問先と保護者に伝え、実践している。 ・毎回、園や保護者の意向を確認し、3か月ごとに支援計画の見直しを行い、児童発達支援管理責任者、支援員で話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も支援の状況や支援対象のこどもと訪問先に合わせた計画であるか確認し、必ず見直しを行う。
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催者の意向を確認しながら、こどもの状況を十分に理解している担当者が参加している。 ・基本的に、会議には担当支援員が出席しているが、必要に応じて児童発達支援管理責任者や担当相談員も同行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続する。
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、園や学校、福祉サービスの事業所、相談支援事業所などこどもに関わる関係者と連携を取っている。 ・主に児童発達支援管理責任者が、関係機関の会議に出席し、保育所等訪問支援の周知を図るとともに、連携の依頼をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続し、関係機関との連携を深められるよう積極的に関わりを持つようしていく。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・就園、就学だけでなく、進級の際にも、支援の目的や今までの取り組みについて具体的に伝え、支援をつなぐための情報共有に努めている。 ・これまでの計画や資料を持参し、必要に応じて話し合いの場を持つなど、円滑な支援の移行に繋がるようにしている。 ・年度替わりに支援員の異動があると、引き続きが難しくなることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。 ・日頃から、支援員間の情報共有を徹底し、移行時の支援に支障がないよう努める。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・心理職やリハビリ職、医療機関等の助言を得ながら支援を提供している。外部研修に積極的に参加させている。 ・研修には積極的に参加している。また、医療機関からの情報や発達検査の結果を、積極的に活用したり、作業療法士がモニタリングに同行し、意見を求めるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引く続き、助言を受けられる専門家との繋がりを持ち、積極的に研修に参加していく。

	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者が自立支援協議会に参画し、内容を共有している。	・今後も継続する。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・現状について共通理解できるよう、訪問後には、必ず保護者と担当相談員にこどもの状況を伝えている。 ・モニタリング時の状況を毎回保護者に報告し、成長を確認するとともに、家庭の状況も踏まえて課題や対応策を共通理解している。	・今後も継続する。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・事業所内で家族向けの講演会やペアレントプログラムなどを開催し、主に、担当相談員が情報提供している。	・今後も継続する。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に書類を提示しながら丁寧に説明し、質問がないかを尋ねるようにしている。	・今後も継続する。
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	・契約開始前に、事業の趣旨や具体的な内容、支援の目的など説明している。 ・児童発達支援管理責任者が、パンフレットなどを持参し、支援開始前に丁寧に説明を行っている。	・今後もより丁寧な説明を心掛けていく。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・保護者の意向を丁寧に聞き取りとともに、こどもの姿や言動から思いや願いを汲み取り、何を目標とすべきか保護者と確認している。 ・アセスメント時には、訪問先や保護者からこどもの願いも聞き取り、それを踏まえて、支援の方向性を決定している。	・今後も継続し、こどもの最善の利益となる支援の提供を実現していく。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0	・支援計画の内容、書面以外の具体的な支援の方向性や手立てを伝えた上で、同意を得るようにしている。 ・起案、見直し、終了時など、定期的に面談にて丁寧に説明をし、その場で同意のサインをもらっている。	・今後も継続する。
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	1	・訪問後の報告時に、保護者の思いを確認しながら、悩み事などの相談に丁寧に対応し、必要に応じて家庭を訪問し支援を行っている。 ・必要に応じて面談をしたり相談担当の面談の機会を設けたりしている。	・今後も丁寧な対応を継続する。
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	・保護者からのニーズは少なく、個人情報保護の観点からも、積極的に交流する機会は設けていない。 ・当事業所では特に交流の場を設けてはいないが、他機関の交流の場を紹介している。	・開催については、今後事業所内で検討していく。
	32	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・担当相談員と連携しながら、ニーズに合わせて柔軟に対応している。 ・支援開始、支援終了は必ず担当相談員を介するようにしている。また、申し入れがあった場合はできるだけ迅速に対応することを心がけている。	・今後も継続する。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	5	・実施していないが、保護者からのニーズもないため、あまり必要性を感じない。	・必要性が出てきた場合、検討していく。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・十分留意している。 ・支援に必要最低限の範囲で個人情報を使用する同意を保護者から得ている。	・今後も継続する。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・保護者に合わせて、視覚的な情報を併用している。 ・保護者からニーズを聞き取り、必要な場合は書面や面談の場を設けるなど、より伝わりやすい配慮をしている。	・今後も継続し、意思の疎通や情報伝達が適切に行われるよう努める。
	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0	・保育所等訪問支援で対応できる場合は助言・支援の提供をしている。また必要に応じて同施設内の巡回訪問や療育相談の利用を勧めている。 ・できる限り、その場で助言ができるようにしているが、持ち帰って資料を準備する場合もある。	・今後も継続する。

訪問先施設への説明等	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	・訪問時に時間が確保できない場合は、事後に電話で伝えたり改めて場を設けている。	・今後も継続する。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	・毎回、モニタリング後、数日以内に保護者に報告し、共有するようにしている。	・今後も継続する。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・十分留意している。 ・支援に必要なことのみ情報共有する同意を保護者から得ていることを、訪問先にも伝えている。	・今後も継続する。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0	・訪問先からの相談には丁寧に対応し、実施可能な支援を提供することで信頼関係を築いている。 ・求められる助言ができるよう専門的な知識を深めることに努め、信頼関係を築くことに最大限配慮している。	・今後も継続し、支援員の専門性を高め、安心して支援を受けてもらえるようにしていく。
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・全てのマニュアルを作成、周知し、必要な訓練を実施している。 ・マニュアルを保護者の目につく場所に置き、必要な時に手に取ってもらえるようにしている。また、研修に参加して、発生した時に対応するための知識を深めている。	・今後も継続する。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画を作成し、各々の役割を確認している。 ・安全計画を契約時に保護者に提示している。	・今後も継続する。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・事案発生時には、事業所内で共有し再発防止策を検討している。 ・他部署で発生した事案においても共有し、防止策や対応策を検討している。	・今後も継続する。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・施設内、外部の虐待研修会に参加したり、ロールプレイやグループワークで具体的に話しあっている。 ・積極的に研修に参加し、常に意識を持って支援に臨めるようにしている。	・今後も継続する。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・契約時に身体拘束に関する同意書の説明を行い、同意を得ている。 ・支援でやむを得ず身体拘束を行うと推測される時は、支援計画に記載し保護者や訪問先に丁寧な説明をしている。	・今後も意図を明確にし、丁寧な説明を意識していく。